



令和7年12月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

令和7年8月6日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 田中 直子

TEL 03-6757-4584

半期報告書提出予定日 令和7年8月6日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年12月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (令和7年1月1日～令和7年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年12月期中間期	42,268	5.0	2,316	47.3	2,398	40.5	1,855	46.5
6年12月期中間期	40,239	△5.7	1,572	△22.5	1,707	△18.7	1,266	△26.3

(注) 包括利益 7年12月期中間期 1,841百万円 (4.8%) 6年12月期中間期 1,757百万円 (△16.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
7年12月期中間期	32.57	—
6年12月期中間期	21.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年12月期中間期	53,904	25,456	45.7
6年12月期	55,739	24,478	42.4

(参考) 自己資本 7年12月期中間期 24,628百万円 6年12月期 23,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年12月期	—	—	—	10.00	10.00
7年12月期	—	—	—	—	—
7年12月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

6年12月期期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭 (創立100周年記念配当)

3. 令和7年12月期の連結業績予想 (令和7年1月1日～令和7年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	86,500	2.8	3,800	10.2	3,850	6.1	2,900	6.3
								51.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	7年12月期中間期	65,586,196 株	6年12月期	65,586,196 株
② 期末自己株式数	7年12月期中間期	8,996,579 株	6年12月期	8,576,331 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	7年12月期中間期	56,987,240 株	6年12月期中間期	58,076,049 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	10

○第2四半期（中間期）決算 参考資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、継続する物価上昇の個人消費への影響、ウクライナ情勢の長期化や中東地域における地政学リスクの高まり、米国の関税政策に伴う為替変動など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、グループの健全かつ持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るべく、長期ビジョン「NEXT100」で掲げた3つの重要課題を軸として、「中期経営計画2028」の目標達成に向けた取組みを引き続き進めてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は、42,268百万円（前年同期比5.0%増）となりました。利益面では、営業利益は2,316百万円（前年同期比47.3%増）、経常利益は2,398百万円（前年同期比40.5%増）となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は1,855百万円（前年同期比46.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム		当中間連結会計期間 (自 令和7年1月1日 至 令和7年6月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
酒類	和酒部門	焼酎	17,175	99.1
		チューハイ	9,433	119.9
		清酒	1,707	96.0
		合成清酒	840	96.5
		販売用アルコール	6,884	104.8
		みりん	169	94.4
			36,211	104.7
	洋酒部門		2,490	100.9
	その他の部門		343	108.6
			39,044	104.4
酵素医薬品			2,517	112.0
不動産			660	116.5
その他			44	109.0
合 計			42,268	105.0

【酒類事業】

酒類事業につきましては、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少に加え、物価上昇による節約志向の高まりから、競争が益々激化しております。このような環境の下、売上高は39,044百万円（前年同期比4.4%増）となりました。また、利益面につきましては、1,352百万円の営業利益（前年同期比49.7%増）となりました。

和酒部門のうち焼酎につきましては、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」シリーズが好調に推移したものの、乙類焼酎の「海渡」シリーズの終売や乙類焼酎のPB商品の減少により、売上高は前期並みとなりました。同カテゴリーにおいては、国際的な食品品評コンクールである「モンドセレクション2025」において、しそ焼酎「鍛高譚」（10年連続）、本格焼酎「博多の華 三年貯蔵」（14年連続）、本格焼酎「CANBASY」（初受賞）の3商品が、その高い品質が評価され、優秀品質金賞を受賞いたしました。

チューハイなどのRTD分野につきましては、PB商品や、オエノンプロダクトサポートが手掛けるパッカー事業が好調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。また、同カテゴリーのNB商品においては、過去2年、数量限定で発売しておりました、日本各地の厳選素材を使用したチューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズの「NIPPON PREMIUM 長野県産シャインマスカット」が、毎年完売の好評を受け、本年度より通年販売としております。

清酒につきましては、NB商品、PB商品ともに減少したため、売上高は減少いたしました。同カテゴリーでは、「大雪乃蔵 鳳雪」が「令和6酒造年度 全国新酒鑑評会」において栄えある金賞を2年連続で受賞しております。

販売用アルコールにつきましては、工業用アルコール及び酒類原料用アルコールが好調に推移し、売上高は増加いたしました。

洋酒部門につきましては、ワインは減少したものの、炭酸水で割るだけで手軽に居酒屋の味わいを家で楽しむことができるチューハイの素や、ハイボールに最適なウイスキー「香薫(こうくん)」などが好調に推移したことにより、売上高は前期並みとなりました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業につきましては、国内の発酵受託が増加したことや、酵素部門における海外での販売が好調に推移したため、売上高は2,517百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は568百万円(前年同期比56.3%増)となりました。

【不動産事業】

不動産事業につきましては、賃貸物件の賃料改定などにより、売上高は660百万円(前年同期比16.5%増)、営業利益は389百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産につきましては、53,904百万円となり、棚卸資産が増加したものの、売上債権が減少したため、前連結会計年度末と比較し1,834百万円の減少となりました。

負債につきましては、28,448百万円となり、短期借入金が増加したものの、未払酒税や未払金が減少したため、前連結会計年度末と比較して2,812百万円の減少となりました。

純資産につきましては、25,456百万円となり、前連結会計年度末と比較して977百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は797百万円となり、前連結会計年度末と比較して85百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の減少額は、377百万円(前年同期比873百万円減)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2,495百万円、売上債権の減少額1,609百万円などがありましたものの、未払酒税の減少額3,130百万円、法人税等の支払額538百万円、棚卸資産の増加額371百万円、仕入債務の減少額344百万円などを計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出1,234百万円などがありましたので、1,241百万円(前年同期比489百万円減)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、短期借入金の増加額2,800百万円などがありましたので、1,534百万円(前年同期比1,119百万円増)の資金増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、令和7年7月30日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年12月31日)	当中間連結会計期間 (令和7年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	887	802
受取手形及び売掛金	16,733	15,123
商品及び製品	6,880	7,160
仕掛品	273	369
原材料及び貯蔵品	1,110	1,106
その他	302	233
貸倒引当金	△13	△10
流動資産合計	26,175	24,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,807	29,819
減価償却累計額	△20,358	△20,588
建物及び構築物（純額）	9,449	9,231
機械装置及び運搬具	35,872	35,957
減価償却累計額	△30,787	△31,193
機械装置及び運搬具（純額）	5,084	4,763
土地	9,546	9,518
建設仮勘定	39	136
その他	1,854	1,917
減価償却累計額	△1,515	△1,553
その他（純額）	338	363
有形固定資産合計	24,458	24,013
無形固定資産		
のれん	1	—
その他	428	377
無形固定資産合計	429	377
投資その他の資産		
投資有価証券	3,654	3,753
繰延税金資産	590	516
その他	436	462
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	4,675	4,727
固定資産合計	29,563	29,118
資産合計	55,739	53,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年12月31日)	当中間連結会計期間 (令和7年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,928	4,880
電子記録債務	1,905	1,608
短期借入金	1,850	4,650
未払金	4,753	3,798
未払酒税	8,249	5,119
未払法人税等	634	674
賞与引当金	66	64
役員賞与引当金	39	15
株主優待引当金	24	—
設備関係支払手形	562	38
設備関係電子記録債務	136	102
その他	1,745	1,428
流動負債合計	24,897	22,380
固定負債		
長期借入金	1,200	900
長期預り金	3,182	3,221
繰延税金負債	183	206
役員株式給付引当金	169	91
退職給付に係る負債	1,499	1,522
資産除去債務	41	40
その他	85	85
固定負債合計	6,363	6,067
負債合計	31,260	28,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,637	5,639
利益剰余金	12,230	13,508
自己株式	△2,414	△2,692
株主資本合計	22,399	23,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,236	1,345
繰延ヘッジ損益	104	△21
退職給付に係る調整累計額	△102	△97
その他の包括利益累計額合計	1,238	1,225
非支配株主持分	840	827
純資産合計	24,478	25,456
負債純資産合計	55,739	53,904

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年1月1日 至 令和7年6月30日)
売上高	40,239	42,268
売上原価	33,589	34,553
売上総利益	6,649	7,714
販売費及び一般管理費	5,077	5,397
営業利益	1,572	2,316
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	29	46
持分法による投資利益	72	69
受取賃貸料	30	29
為替差益	51	17
雑収入	24	28
営業外収益合計	208	191
営業外費用		
支払利息	46	64
操業休止等経費	14	15
債権流動化契約料	-	13
雑損失	12	17
営業外費用合計	73	109
経常利益	1,707	2,398
特別利益		
固定資産売却益	-	119
その他	1	1
特別利益合計	1	120
特別損失		
固定資産除売却損	11	15
保険解約損	-	8
その他	1	-
特別損失合計	12	23
税金等調整前中間純利益	1,696	2,495
法人税等	429	643
中間純利益	1,267	1,852
非支配株主に帰属する中間純利益 又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	0	△3
親会社株主に帰属する中間純利益	1,266	1,855

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年1月1日 至 令和7年6月30日)
中間純利益	1,267	1,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	284	109
繰延ヘッジ損益	201	△120
退職給付に係る調整額	1	5
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△5
その他の包括利益合計	490	△11
中間包括利益	1,757	1,841
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,756	1,843
非支配株主に係る中間包括利益	0	△2

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年1月1日 至 令和7年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,696	2,495
減価償却費	931	961
のれん償却額	1	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1	29
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19	△24
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	11	△78
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△27	△24
受取利息及び受取配当金	△29	△46
支払利息	46	64
持分法による投資損益(△は益)	△72	△69
固定資産売却益	-	△119
固定資産除売却損	11	15
保険解約損益(△は益)	-	8
売上債権の増減額(△は増加)	692	1,609
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,126	△371
仕入債務の増減額(△は減少)	184	△344
未払消費税等の増減額(△は減少)	△419	△336
未払酒税の増減額(△は減少)	△172	△3,130
その他	△695	△670
小計	1,008	△33
利息及び配当金の受取額	94	197
利息の支払額	△62	△83
保険金の受取額	-	80
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△544	△538
営業活動によるキャッシュ・フロー	495	△377

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年1月1日 至 令和7年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△706	△1,234
固定資産の売却による収入	-	182
固定資産の除却による支出	△33	△27
地方自治体からの補助金による収入	38	-
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△47	△158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△752	△1,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,450	2,800
長期借入金の返済による支出	△300	△300
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△16	△23
自己株式の取得による支出	△245	△357
配当金の支払額	△469	△575
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△0	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	414	1,534
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	157	△85
現金及び現金同等物の期首残高	824	882
現金及び現金同等物の中間期末残高	982	797

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年3月23日開催の第110回定時株主総会にて決議された「株式給付信託(BBT)」において、令和7年4月30日付で対象者へ250,100株の株式給付を行ったことにより、当中間連結会計期間において、自己株式が78百万円減少しております。また、令和7年5月9日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において、自己株式670,200株の取得を行ったことにより、自己株式が355百万円増加しております。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が277百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が2,692百万円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、令和4年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 令和4年10月28日。以下「令和4年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、令和4年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間期及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間期の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 令和6年1月1日 至 令和6年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	37,382	2,248	567	40,198	41	—	40,239
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14	—	—	14	5	△19	—
計	37,396	2,248	567	40,212	46	△19	40,239
セグメント利益	903	363	298	1,565	7	—	1,572

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 令和7年1月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	酒類	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	39,044	2,517	660	42,223	44	—	42,268
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12	—	—	12	5	△17	—
計	39,057	2,517	660	42,236	49	△17	42,268
セグメント利益	1,352	568	389	2,310	6	—	2,316

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

令和7年12月期 第2四半期（中間期）決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. 要約連結損益計算書（当四半期）
3. セグメント別売上高
4. 利益増減要因
5. 要約連結貸借対照表
6. 連結業績予想
7. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

令和7年8月6日

1. 要約連結損益計算書

単位:百万円

	前中間連結会計期間 自 令和6年 1月 1日 至 令和6年 6月30日	当中間連結会計期間 自 令和7年 1月 1日 至 令和7年 6月30日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	37,382	39,044	1,662	104.4
酵素医薬品事業	2,248	2,517	268	112.0
不動産事業その他	608	705	97	116.0
売上高	40,239	42,268	2,028	105.0
売上原価	33,589	34,553	964	102.9
売上総利益	6,649	7,714	1,064	116.0
販売費及び一般管理費	5,077	5,397	320	106.3
酒類事業	903	1,352	449	149.7
酵素医薬品事業	363	568	204	156.3
不動産事業その他	305	396	90	129.5
営業利益	1,572	2,316	744	147.3
営業外収益	208	191	△ 16	92.0
営業外費用	73	109	36	149.8
経常利益	1,707	2,398	691	140.5
特別利益	1	120	118	－
特別損失	12	23	10	186.2
税金等調整前中間純利益	1,696	2,495	799	147.1
法人税等合計	429	643	213	149.8
中間純利益	1,267	1,852	585	146.2
非支配株主に帰属する中間純利益	0	△ 3	△ 3	－
親会社株主に帰属する中間純利益	1,266	1,855	589	146.5
1株当たり中間純利益(円)	21.81	32.57	10.76	149.3
設備投資額	456	451	△ 5	98.8

2. 要約連結損益計算書(当四半期)

単位:百万円

	前第2四半期 連結会計期間 自 令和6年 4月 1日 至 令和6年 6月30日	当第2四半期 連結会計期間 自 令和7年 4月 1日 至 令和7年 6月30日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	19,937	21,160	1,223	106.1
酵素医薬品事業	1,170	1,331	160	113.7
不動産事業その他	304	352	48	115.9
売上高	21,412	22,844	1,432	106.7
売上原価	17,812	18,374	562	103.2
売上総利益	3,600	4,469	869	124.2
販売費及び一般管理費	2,651	2,849	198	107.5
酒類事業	607	1,114	507	183.5
酵素医薬品事業	191	307	116	161.1
不動産事業その他	149	197	48	132.1
営業利益	948	1,619	671	170.8
営業外収益	125	116	△ 8	93.0
営業外費用	39	52	13	135.3
経常利益	1,034	1,683	649	162.8
特別利益	1	110	109	—
特別損失	10	22	12	229.6
税金等調整前四半期純利益	1,025	1,771	745	172.7
法人税等合計	256	449	192	175.2
四半期純利益	768	1,321	552	171.9
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2	1	193.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	767	1,319	551	171.8
1株当たり四半期純利益(円)	13.24	23.15	9.91	174.8

3. セグメント別売上高

単位: 百万円

	前中間連結会計期間 自 令和6年 1月 1日 至 令和6年 6月30日	当中間連結会計期間 自 令和7年 1月 1日 至 令和7年 6月30日	増減(△)	前年対比(%)
焼 酎	17,333	17,175	△ 157	99.1
(甲 類 焼 酎)	(5,944)	(5,920)	(△ 23)	(99.6)
(乙 類 焼 酎)	(11,388)	(11,254)	(△ 133)	(98.8)
チ ュ ー ハ イ	7,869	9,433	1,563	119.9
清 酒	1,778	1,707	△ 70	96.0
合 成 清 酒	870	840	△ 30	96.5
販 売 用 ア ル コ ー ル	6,566	6,884	317	104.8
み り ん	179	169	△ 10	94.4
洋 酒	2,467	2,490	22	100.9
そ の 他	316	343	27	108.6
酒 類 計	37,382	39,044	1,662	104.4
酵 素 医 薬 品	2,248	2,517	268	112.0
不 動 産	567	660	93	116.5
そ の 他	41	44	3	109.0
合 計	40,239	42,268	2,028	105.0

4. 利益増減要因

単位:百万円

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	449	売上高増加による総利益増+150 原材料コストの低下による原価減+600 運送費保管費など販管費の増△220 製品構成による影響等△81
酵素医薬品事業	204	発酵受託及び輸出酵素の増
不動産事業その他	90	不動産賃料改定による増
営業利益	744	
営業外収益	△ 16	
営業外費用	△ 36	
経常利益	691	
特別利益	118	旧仙台事務所土地売却による増
特別損失	△ 10	
税金等調整前中間純利益	799	
法人税等	△ 213	
中間純利益	585	
非支配株主に帰属する中間純利益	3	
親会社株主に帰属する中間純利益	589	

5. 要約連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度 令和6年12月31日	当中間連結会計期間 令和7年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	887	802	△ 85	90.4	季節要因による売上高減
受取手形及び売掛金	16,733	15,123	△ 1,609	90.4	
棚卸資産	8,264	8,636	371	104.5	
その他	302	233	△ 68	77.2	
貸倒引当金	△ 13	△ 10	2	－	
流動資産合計	26,175	24,785	△ 1,390	94.7	
建物	8,029	7,852	△ 177	97.8	
土地	9,546	9,518	△ 28	99.7	
その他	6,882	6,642	△ 239	96.5	
有形固定資産計	24,458	24,013	△ 445	98.2	
無形固定資産	429	377	△ 51	88.0	
投資有価証券	3,654	3,753	98	102.7	
長期前払費用	200	315	114	157.1	
繰延税金資産	590	516	△ 73	87.6	
その他	235	147	△ 87	62.6	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	－	－	
投資その他の資産計	4,675	4,727	52	101.1	
固定資産合計	29,563	29,118	△ 444	98.5	
資産合計	55,739	53,904	△ 1,834	96.7	

単位:百万円

	前連結会計年度 令和6年12月31日	当中間連結会計期間 令和7年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,833	6,489	△ 344	95.0	
短期借入金	1,850	4,650	2,800	251.4	
未払金	4,753	3,798	△ 955	79.9	
未払酒税	8,249	5,119	△ 3,130	62.1	季節要因による売上高減
その他	3,210	2,323	△ 886	72.4	未払消費税等の減
流動負債合計	24,897	22,380	△ 2,516	89.9	
長期借入金	1,200	900	△ 300	75.0	
その他	5,163	5,167	4	100.1	
固定負債合計	6,363	6,067	△ 295	95.4	
負債合計	31,260	28,448	△ 2,812	91.0	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	－	100.0	
資本剰余金	5,637	5,639	2	100.0	
利益剰余金	12,230	13,508	1,278	110.5	
自己株式	△ 2,414	△ 2,692	△ 277	－	
株主資本合計	22,399	23,402	1,003	104.5	
その他有価証券評価差額金	1,236	1,345	108	108.7	
繰延ヘッジ損益	104	△ 21	△ 125	－	
退職給付に係る調整累計額	△ 102	△ 97	5	－	
その他の包括利益累計額合計	1,238	1,225	△ 12	99.0	
非支配株主持分	840	827	△ 13	98.4	
純資産合計	24,478	25,456	977	104.0	
負債純資産合計	55,739	53,904	△ 1,834	96.7	

自己資本比率(%)	42.4	45.7	3.3	
-----------	------	------	-----	--

6. 連結業績予想

単位:百万円

		前連結会計年度 自 令和6年 1月 1日 至 令和6年12月31日	当連結会計年度 自 令和7年 1月 1日 至 令和7年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
	酒類事業	78,715	80,372	1,656	102.1
	酵素医薬品事業	4,155	4,712	557	113.4
	不動産事業その他	1,233	1,415	181	114.7
売上高		84,104	86,500	2,395	102.8
売上原価		70,139	71,391	1,251	101.8
売上総利益		13,964	15,108	1,144	108.2
販売費及び一般管理費		10,516	11,308	792	107.5
	酒類事業	2,296	2,450	153	106.7
	酵素医薬品事業	534	640	105	119.8
	不動産事業その他	617	710	92	115.0
営業利益		3,448	3,800	351	110.2
営業外損益		181	50	△ 131	27.5
経常利益		3,629	3,850	220	106.1
特別損益		△ 36	△ 100	△ 63	－
税金等調整前当期純利益		3,592	3,750	157	104.4
法人税等合計		863	845	△ 18	97.9
当期純利益		2,729	2,904	175	106.4
非支配株主に帰属する当期純利益		0	4	4	－
親会社株主に帰属する当期純利益		2,729	2,900	170	106.3

7. 予想売上高

単位:百万円

	前連結会計年度 自 令和 6年 1月 1日 至 令和 6年12月31日	当連結会計年度 自 令和 7年 1月 1日 至 令和 7年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
焼 酎	36,274	36,299	24	100.1
(甲 類 焼 酎)	(12,172)	(12,124)	(△ 47)	(99.6)
(乙 類 焼 酎)	(24,102)	(24,174)	(72)	(100.3)
チ ュ ー ハ イ	16,933	18,774	1,840	110.9
清 酒	3,638	3,538	△ 100	97.2
合 成 清 酒	1,897	1,856	△ 40	97.9
販 売 用 ア ル コ ー ル	13,519	13,381	△ 138	99.0
み り ん	400	372	△ 28	93.0
洋 酒	5,334	5,423	88	101.7
そ の 他	717	727	10	101.4
酒 類 計	78,715	80,372	1,656	102.1
酵 素 医 薬 品	4,155	4,712	557	113.4
不 動 産	1,144	1,322	177	115.5
そ の 他	88	92	4	104.6
合 計	84,104	86,500	2,395	102.8